

### 3. 国の風しんの追加的対策（第5期）について

資料 14

#### 課題:1.個別通知の時期・回数

区市町村名	課題の背景、独自の取組等(自由記載)
文京区	抗体検査未受検者に対し、勸奨はがきの送付を行う予定。
新島村	各対象者の健康保険の健診の前に発送(申し込み間に合う時期)。健診で抗体検査が受けられない方には、診療所での受検を案内。

#### 課題:2.個別通知の内容

区市町村名	課題の背景、独自の取組等(自由記載)
新宿区	受検意欲の低い対象者への周知方法について、今後はナッジ手法の活用を視野に勸奨に取り組んでいく。
武蔵村山市	令和4年度に抗体検査未受検の対象者全員にクーポン券を一齐送付したが、受検者数は伸び悩み、令和3年度にハガキ送付による勸奨の方が反響が大きかった。そのため、令和5年度はハガキによる勸奨を行い、内容についても工夫する。
西東京市	抗体検査の結果、予防接種が必要と判断されたものの、予防接種未接種の方に対して、個別に受診勧奨通知を送付している

#### 課題:3.個別通知の手段

区市町村名	課題の背景、独自の取組等(自由記載)
墨田区	令和5年には、これまでのクーポン発行対象者で抗体検査未受検者及び他区からの転入等により本区で接種記録が無い方へ勸奨ハガキを送付することを予定している。
中野区	令和5年3月末に個別通知として勸奨はがきを送付した。
足立区	未受検者および検査済みで予防接種対象者で未接種者に対し、個別にハガキによる勸奨を実施するが、ジェンダーへの配慮のため、圧着ハガキ等で風しん5期の勸奨通知とは開封しないと思われるように配慮する。

#### 課題:4.その他情報発信の時期・回数

区市町村名	課題の背景、独自の取組等(自由記載)
小金井市	市町村からの情報発信、勸奨では受検率向上に限界があると感じる。
瑞穂町	特定健康診査と同時実施した(町内医療機関を除く)。
日の出町	メールによる接種勧奨を、検討する。
八丈町	島内広報、町役場HPにて記載

#### 課題:5.その他情報発信の内容

区市町村名	課題の背景、独自の取組等(自由記載)
大田区	区内中小企業向けの広報誌に接種勧奨の記事を掲載した。
豊島区	特定健診の封筒に情報を掲載
八王子市	普及啓発用ポスターを新型コロナウイルスワクチンの接種会場に掲示することで、多くの対象者に啓発することができた。
武蔵野市	市ホームページに新型コロナウイルスワクチンとの接種間隔についての案内を掲載し、ワクチン接種に対する懸念事項の解消につなげた。
三鷹市	令和5年度は5月頭に対象者全員へ勸奨はがきを一齐送付した際に、大阪大学CiDERから情報提供いただいた「同年代男性の制度利用件数」を掲載して、より関心をひけるよう工夫しました。
日野市	引き続き、ホームページで周知と電話メール連絡相談があった際の迅速な対応。
東村山市	よくある質問への回答を市ホームページに掲載するなど、受検を考えているかたへの情報発信の内容を工夫する。
東大和市	日本では、風しんの予防接種は中学2年生の女子のみを対象としていたため、平成元年4月から、MMRワクチンを導入する前は、男性には接種をしていなかった。また、MMRワクチンでは、副作用(無菌性髄膜炎等)により、一時見合わせにより、麻疹ワクチンの接種率も低下したことにより、十数年後、麻疹の大流行が起きている。日本では、乳幼児に中心とした予防接種の背景があるが、そもそも社会全体で感染症を阻止していく意識が希薄であり、市民に対する啓もうが、必要と考えるが、具体的取り組みは未定。
あきる野市	市広報、ホームページで周知している。

#### 課題:6.その他情報発信の手段

区市町村名	課題の背景、独自の取組等(自由記載)
千代田区	未接種者への啓発に係る内容を情報発信する回数及び発信媒体を増やし、対象者の目に触れる機会を増やす
品川区	・しながわCSR協議会加盟企業の総会での本事業の周知を依頼、加盟企業へのメルマガ配信 ・国保健診のご案内に、風しん抗体検査・予防接種事業について記載、実施医療機関一覧も掲載 ・区内企業向けの情報誌(しながわ産業ニュース)に本事業の掲載 ・医師会加盟医療機関において、厚労省が作成した周知用ポスターを掲示予定(R5新規) ・区HP等に大阪大学 CiDER の YouTube 動画を活用した啓発を実施する(R5新規)
青梅市	令和4年度においては、クーポン券を送ったため検査者数は上昇したが、期待している検査者数には達していない。令和4年度はクーポン券送付年ということもあり、勸奨通知は送らなかつたが、検査者数を増やすためには受診勧奨通知を送ることが必要だと感じた。以前も書かせていただきましたが、風しんが流行してしまうことの危険性や、抗体検査の重要性をわかってもらえるよう行政からの周知だけでなくテレビ・新聞等の報道機関で取り上げていただくと対象世代の当事者意識を高められるのではと考えられる。
府中市	広報、ホームページによる周知をしている。 成人・若年層健康診査及び国民健康保険特定健康診査の受診券送付封筒に勸奨文を印字している。
町田市	2023年度途中から、市と包括連携協定を締結している生命保険会社2社にて勸奨チラシを配布予定。
清瀬市	健康診査等を実施している会場にポスターを掲示し、担当部署の窓口ではフリーレットを配布している。 また、ホームページにおいても案内ページを掲載している。

### 3. 国の風しんの追加的対策（第5期）について

資料 14

大島町	予防接種のために休暇を取る習慣がない。仕事優先者がおおい。休日や時間外の接種は医療機関が一カ所のみであるためスタッフ確保が厳しい。
-----	---

#### 課題:7.管内医療機関での接種日や受付時間の拡大

区市町村名	課題の背景、独自の取組等(自由記載)
国分寺市	対象者の年代は、働き盛りの年代であり、抗体検査を受けて、結果を聞きに行き、予防接種を受けに行く時間がないことが多い。また、自分に関係のないことだと思う人が多く、接種する必要があるのかのわからない人も多いことが課題である。
檜原村	村外で受検する方の割合が少なく、村の診療所で受検の方が比較的多いが、村診療所は平日の8時30分～17時までの対応に限られる。クーポン送付時に管内医療機関の一覧を同封している。
奥多摩町	土、日、祝日に町内医療機関で受診することができない。

#### 課題:8.国内の区市町村からの転入者への取組

区市町村名	課題の背景、独自の取組等(自由記載)
品川区	・クーポン券紛失者や転入者が自宅などで容易に再発行を受けることができるよう、クーポン券再発行の電子申請を整備(R5新規 実施済み) ・転入者へのクーポン券の一斉発送
府中市	転入の翌月にクーポンを送付している。
調布市	転入者は市に記録がない(システム上、他市での接種や自費での接種記録は入力できない)ので前住所地で検査や接種をしている人へも通知が届いてしまう。手引きには毎年勧奨するよう書かれているが、今年度連絡があった方へは送付しないようリスト管理している。
福生市	月初に前月の転入者に対してクーポン券を送付している。

#### 課題:9.海外出生者の転入時の取組

区市町村名	課題の背景、独自の取組等(自由記載)
(なし)	

#### 課題:10.新型コロナウイルス感染症の流行に伴う接種控え

区市町村名	課題の背景、独自の取組等(自由記載)
檜原村	コロナ感染症が5類となったものの、追加的対策が開始された時の受検状況には戻っていない。
利島村	コロナの感染症流行に伴い医療機関へ通院や風しんへの関心度の低下が課題であり、周知を広めていく。
御蔵島村	

#### 課題:11.その他

区市町村名	課題の背景、独自の取組等(自由記載)
品川区	風しん抗体検査を受検する意義をいかに伝えることができるかが課題と考えている。
板橋区	区のHP等で随時更新情報発信に努めるが、これに加えて板橋区独自にといえるような効果的な取組が行えるかは検討したい。
足立区	(クーポン券入手方法) クーポン券の紛失による再発行申請の手間がハードルとなる場合があると考え、オンライン電子申請によるクーポン券の再発行受付を令和5年6月中旬より開始。
台東区	(制度の目的) 妊娠を希望する女性や妊婦が周りにいないため、接種を受けるメリットが感じられず、クーポン券は送付不要であるとの声を聞くことがある。その際には、自身の感染予防にもなる旨を伝え、接種勧奨を行っているところではあるが、予防接種が直接対象者の便益の向上に結び付くものであると考えられにくい点が、受検率・接種率の向上に繋がらない要因の一つとして考えられる。
多摩市	(重複して、受診するケースへの対応) 抗体検査及び予防接種の受診結果が、システムに反映されるまでに2か月くらいかかるため、既に受診した人にもクーポン券が郵送されてしまう。重複して、受診するケースがあり、対応に追われる。また、受診したのにクーポン券が届いたという苦情対応に時間をとられて、本来の業務に支障をきたすので、クーポン券の再発行については、広報誌等でお知らせし、要望があった方に対して、対応している。
目黒区	(麻しんの発生による問い合わせの増加) 令和5年4月の麻しん発生後から「はしか(風しん)に関する通知が来ていたような気がするが捨ててしまったので再発行はできないか」「はしかに関する予防接種を公費で受けることができるか」等の問い合わせが増えた。風しん第5期のクーポンが届いていることは認識しているが、自分には関係ないと破棄等してしまっている人が一定数いるのではないかと感じる。実際に麻しん風しんが流行すれば受検率及び接種率は向上すると考える。